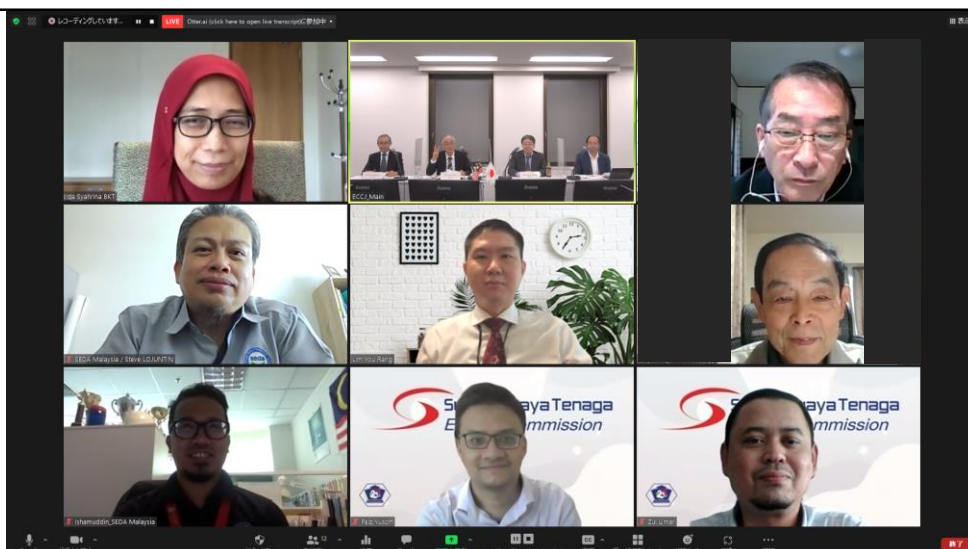


## マレーシアと省エネ支援に関する令和3年度第1回オンライン会議を開催しました

### 【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）では、資源エネルギー庁の委託を受けて令和3年度もマレーシアとの二国間省エネ協力事業を実施しています。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現地への派遣や日本での研修受入の実施が困難な状況であることから、11月の省エネ実技研修と12月の熱講義研修をオンラインで実施することになりました。両研修に向けた討議を中心に、2021年10月22日にマレーシアのカウンターパートであるエネルギー天然資源省他と令和3年度第1回オンライン会議を開催しました。



#### 1. 会議出席者：

- (1) マレーシア側：エネルギー天然資源省 (MENR) 2名、SEDA（持続可能エネルギー開発庁）2名、EC（エネルギー委員会）2名、計6名
- (2) 日本側：ECCJ国際協力本部6名

#### 2. 確認・協議結果概要：

新型コロナウイルス感染拡大の影響で会議開催が大幅に遅れていましたが、今年度最初の会議をオンラインで開催することが出来ました。主要確認・合意事項を以下に示します。

- (1) EECA（省エネ法）承認状況：8月に司法機関に草案を提出し、質問に回答中。2022年、議会に法案を提出予定。
- (2) BECMY8 Part 1 Workshop：11月24日、25日の2日間開催予定のオンライン省エネ実技研修。日鉄テクノロジー(株)とTLV(株)の研修設備・内容を紹介するといった開催方針について合意。
- (3) BECMY8 Part 2 Workshop：12月3日、10日、17日、24日（各金曜日）の4日間開催予定のオンライン熱技術研修の開催方針について合意。
- (4) 熱の省エネを対象とした新たなType 2 Energy Manager Training Courseに関する検討内容を確認した。

以上